

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日：2020年2月10日

都市名・国：マンチェスター・イギリス

取組の名称	マハトマ・ガンジー像の建立（除幕式の開催）
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input checked="" type="checkbox"/> 複合（ ）
テーマ・目的	非暴力
対象者 (年齢・学年、人数等)	マンチェスターの全市民 除幕式までに16校、1,750名の子どもたちが参加
実施場所	マンチェスター大聖堂の屋外
実施期間	継続中（除幕式は2019年11月25日）
<p>取組の概要</p> <p>11月25日、高さ約2・7メートルのマハトマ・ガンジー像がマンチェスター大聖堂の外で初披露された。彫像の建立はガンジーの生誕150周年を記念するものであり、インドを本部とする世界的な精神運動団体シュリマド・ラジチャンドラ・ミッション・ダランプール（SRMD）により進められ、マンチェスター大聖堂、マンチェスター市、インド高等弁務官事務所の後援を受けている。</p> <p>ガンジーは1931年に訪英し、イギリス製品の不買運動におけるインド側の見解を労働者たちに説明するため、ランカシャーの織物工場を訪れた。</p> <p>SRMD イギリス支部の広報責任者であるマンサン・タスワラは、次のように語った。「マハトマ・ガンジーの教えは今日も、彼が初めて『世界に望む変化にあなた自身になりなさい』と説いた時と同様に、大きな説得力を持っています。2017年にアリーナで起きたテロ事件後、マンチェスターの市民としての誇りは非暴力と慈悲が持つ価値を示しました。前代未聞の悲劇に直面したマンチェスターの人びとの強さ、良識、そして共同意識に、私たちは感銘を受けています。」</p> <p>「ガンジー像は彼の比類のないメッセージの普遍的な力を称えるものです。マンチェスターに置かれた像は、私たちの政治と民主主義の中心が、ガンジーの哲学によって祝福を受けられることを示してくれるでしょう。」</p>	
参加者の反応	
<p>成果</p> <p>除幕式までの取組において、マンチェスター市はシュリマド・ラジチャンドラ・ミッション・ダランプールによる平和教育プログラム作成の支援を行い、同プログラムには16校、1,750名の子どもが参加し、ガンジーの平和と非暴力の価値観について学ぶとともに、さまざまな宗教・文化からなるマンチェスターの多様性に光をあてた。</p>	
課題	
取組で使用した素材について	
<p>上記素材の共有の可否</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください） <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	